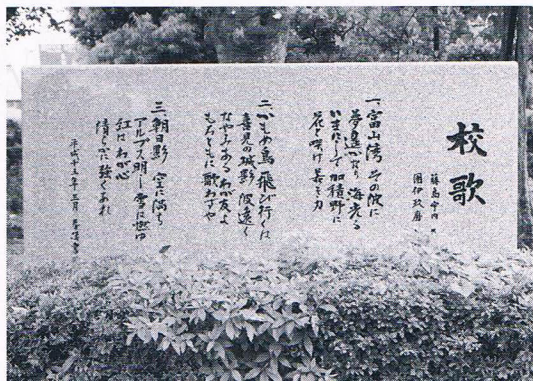


窓

— 同窓会だより —

No. 103 (平成 29. 2. 28発行)

富山県立魚津高等学校同窓会



- 1面 同窓生寄稿
- 2面 各地区同窓会報告
- 3面 同窓会総会講演
- 4面 海外研修報告、図書寄贈

私は、入善町出身で、1978年に魚津高校卒業後、東北大学理学部で生物学、筑波大学大学院修士課程で生化学を専攻し、1984年に製薬会社の富山化学(株)に就職しました。約15年間勤務後、明治製菓(株)に転職し、明治乳業(株)との経営統合・明治グループの会社再編により、Seikaファルマ(株)医薬研究所にて勤務しています。川崎市在住です。この約30年間のかなりの期間を企業研究者として、新薬、特に抗生物質の探索研究に従事してきました。製薬業界では、国際的に競争力のある新薬を恒常的に創出できる国は、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スイス、それに、日本とそれほど多くはありません。なかでも、アメリカの競争力は他を圧倒しています。特に、昨今話題の、多くの抗生物質、バイオ医薬と呼ばれる新薬がアメリカ由来です。



日本および富山県の

製薬業界について

米 沢 実

(魚高30回)

Meiji Seika
ファルマ株式会社
医薬研究所 副所長

アメリカの競争力の源泉として、大学発のベンチャー企業による薬が多いことがあげられます。日本政府も医薬品産業を成長産業ととらえ、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) を設置し、大学からの新薬創出を支援しています。新薬探索は、医学、薬学だけではなく、その基礎にある生物学、化学、IT、さらには人工知能 (AI) も規模的には中小であっても、世界的にも高い技術力を誇る多くの会社があります。そのような会社の幹部の方で、魚津高校の先輩、同輩、後輩の方々とお会いすることもあり、大変、懐かしく、また、うれしくもあります。私もあと2年ほどで定年となりますが、また、同窓の皆様とお会いできることを楽しみにいたしております。

活用した総合的な知識集約産業となつていきます。今後の技術立国としての日本を支える産業としては必須といえます。是非、若い方々にも興味を持つていただき、さらには、この分野での活躍を期待したいものです。富山県にても、化学合成、製剤、資材、包剤、特殊印刷といった製薬関連の多くの企業が集積した「製薬クラスター」が形成されています。

す。ご存知の方も多いと思いますが、新橋に有薫酒蔵(ゆうくんさかくら)という居酒屋があるのですが、ここには、全国の高校の寄せ書きノートがあり、もちろん、魚津高校のノートもあります。これまでも、10名前後の同期生で東京同期会も開催しています。

平成28年度魚津高校 同窓会総会

8月13日、ホテルグランミラーージュにて同窓会総会が開催されました。鶴見瑞夫議長による進行の元議事が進められ承認されました。次いで、10年以上勤務されている福留以久子先生に千田則行同窓会長から感謝状が贈られました。総会終了後、法政大学文学部日本文学部教授・尾谷昌則氏（魚高44回卒）による「若者言葉、どこまで許せますか？」異世代コミュニケーションのすすめ」と題した講演会を拝聴しました。

懇親会は、幹事学年代表浜西伸治氏（魚高47回卒）の挨拶で始まり、千田会長の挨拶、来賓紹介、佐々木基安PTA会長の挨拶、舩方充東京魚高会会長の近況報告、室澤基範兵庫魚高会会長の近況報告と続き、福島校長の挨拶、(株)北陸精機社長の谷口貞夫氏の女学校時代の門柱の寄贈に対する表彰を経て、同窓会名誉会長中尾氏の発声で乾杯、100人を超える参加者らは歓



応援団OBによる校歌斉唱

談に花を咲かせていました。応援団OBによる校歌斉唱、エールの後、次年度幹事学年への引き継ぎが行われました。同窓会副会長若林忠嗣氏による万歳三唱、福島校長による万歳の返礼を頂き、同窓生一同の絆を深めたところで会が終了しました。

第9回兵庫魚高会 総会・懇親会

第9回兵庫魚高会 総会・懇親会が6月25日に神戸市で開催されました。本年度から、近畿地区魚高会役員連絡協議会の申し合わせ通り、他府県の魚高会への案内状をはじめ、来賓の方々やこれまで協力参加をして頂いていました他府県の一般会員の皆様方への案内をせず、兵庫会員のみで行いました。参加者9名と例年に比べ少なかつたですが、全ての案件が承認されました。

本年度活動計画の中で秋にもう一度交流会をやりましようとの案が追加提案され、全員一致で賛成され行うことになりました。兵庫魚高会ではこれまで歴史遺産を訪ねる研修会を実施してきた経緯があります。

これから先、少子高齢化が進む流れの中で、全国各都道府県の魚高会支部会員数の減少が進行することが予想されます。平成20年版以来10年近く経過している会員名簿の新規作成が望まれます。

食 堂

9月に再オープンした食堂は初日に行列ができるほどの盛況ぶりです、生徒らの期待の高さが伺えました。ラーメンと日替わり定食が人気で、休み時間に食券を買いに走る生徒の姿も見られました。しかし、翌10月には利用者数が早くも減少し、赤字を計上してしまいました。食品衛生面の配慮から教室への持ち帰りが出来ないことや、1年生フロアから食堂まで距離が遠いことなどから次第に足が遠のいてしまったようです。スナックメニューの刷新、ウォーターサーバーの導入などあの手で食堂を盛り上げています。ここは企業並の経営努力で食堂を維持していく必要があります。なお、同窓生は食堂がご利用頂けますのでぜひお越し下さいませ。(営業は平日12時15分〜13時15分)



第18回魚津高校同窓会ゴルフ大会



個人成績	優勝	石坂 祐介
	次勝	本井 博信
	3位	堀 昭禎
	4位	森田 仁
	5位	四十物直之
団体成績	優勝	
		野澤繁成 若林 健嗣

若者ことば、どこまで許せますか

法政大学文学部教授 尾谷昌則氏（魚高44回）



若者のことばが乱れていると嘆く声をよく耳にする。

中高年のビジネスマンを対象に調査した「イラッとする若者言葉」は、第一位が「オニ」（「鬼むずかしい」「鬼かわいい」など）、第二位が「ウケるんですけど」、第三位が「あざあーす」（「ありがたいです」の略）であったというが、中高年世代がこれらの言葉に多少なりとも拒絶感を覚えるであろうことは想像に難くない。平安中期の『枕草子』や鎌倉末期の『徒然草』にも、「詞の文字あやしくつかひたるこそあれ」「無下にいやしくなりゆくめれ」「口惜しとぞ古き人の仰せられたし」などと記されていることから、若者の新奇な言葉遣いを嘆く声はどの時代にもあったと推察される。

室町時代には、御所に仕える女房達が、内輪の言葉（女房言葉）を作って楽しんでいた。現代にも残っている例としては、「しゃもじ」（杓子+もじ）、「お目もじ」（お目にかかる+もじ）、「おかき」（お+かき餅）、「お腹」（体のまん中にあるから）、「お冷や（し）」、「おほか」（かつおぶしの「か」を2回繰り返したもの）などがある。これらは、江戸時代に入ると貴族や大名屋敷に奉公にあがっていた娘達を介して庶民にも広まり、上流階級の言葉として

大いにもてはやされたという。明治には、西洋語が大量に流入し、日本語の語彙を大きく変容させた。英語の

「ホワイト・シャツ」は、大正時代には「ワイシャツ」と略され、現代では「Yシャツ」になり、白色以外のシャツも含むようになった。フランス語の「サボタージュ」は、労働争議が盛んだった大正期に「る」が付いて「サボる」という動詞になった。ドイツ語で「美しい」を表す「シエーン」は、大正期の男子学生が少々訛って「彼女はシャンだねえ」という具合に使っていた。大正期には「段違い」や「意味深長」を略した「ダンチ」や「イミシン」も生まれている。後者は女学生の間で流行した言葉であるが、「変態」の頭文字をとった「H」（エッチ）という表現もこの頃に生まれた女学生言葉だ。

戦後は、抑圧からの解放と新しい価値観の創造を象徴するかのようになり、「アプレゲール」や「太陽族」といった自由奔放な若者達が出現し、「いかす（ぜ）」「しびれる」などの言葉を使い始めた。高度経済成長期を迎えた60年代は、銀座に「みゆき族」と呼ばれる若者達が集まった。「口頭による情報伝達（コミュニケーションショー）」や「断然トップ」を略した「ロコミ」「ダントツ」が生まれたのはこの頃である。70年代は「アンノン族」「ロカビリー族」「竹の子族」「つつぱり」と呼ばれる若者達が次々に出現し、「ナウい」「とんでる」「ださい」「シブい」「フィーバーする」などの言葉が生まれた。アイドルブームを迎えた80年代には「ぶりっ子」「ヤンキー」「新人類」といった若者が登場し、

バブル全盛の90年代には「プツン」「やるっきゃない」「ツーショット」「バツイチ」「コギャル」「キレる」などの言葉が生まれている。このように長いスパンでふり返ってみると、

日本語が常に変化していることがよく分かる。それぞれの時代で愛された流行歌が異なるように、世代によって言葉も異なる。これは「世代方言」と呼ばれる。方言というのと、どうしても富山弁、大阪弁といった「地域方言」を連想するが、空間ではなく時間で区切ったものを世代方言といい、若者言葉はその最たる例なのである。知らない者同士でも、お互いに富山弁で話せばなんとなく親近感が湧くのと同じで、同じ世代の者が同じ世代方言で話せば、やはりそこにも同様の親近感が湧くのである。そういうものとして若者言葉を見てやれば、それほど腹が立つこともなくなるのではないか。

テレビ放送が始まった50年代に、大宅壮一はこれを低俗なメディアと評し、こんなものを見ていては国民が白痴になると発言して「一億総白痴化」議論が巻き起こった。しかし、幸いにも我々は白痴化していない。テレビゲーム、パソコン、スマホといった新しいものが出現する度に、似たような議論が再燃するが、長いスパンで見れば、それほど大騒ぎする必要はないと思われる。

中島みゆきの代表曲「時代」では、「そんな時代もあったねと いつか話せる日がくるわ」「まわる まわるよ 時代はまわる」と歌われているが、言葉も同じだろう。日本語はすでに千年以上もまわり続けてきたのだ。

学校だより

魚津高校生
海を渡る

魚津高校で初めての試みとなる海外研修が12月4日から12日にかけて9日間の日程で実施されました。第1回海外研修の参加者は1、2年生年生あわせて37名。村田先生と橋先生が同行されました。渡航先はアメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストン市。現地の語学学校での英語レッスンやホームステイで実践的な英会話力、コミュニケーション力の向上を目指しました。また、ボストン市にあるマサチューセッツ工科大学、ハーバード大学で学ぶ日本人学生との懇談会を通して、進路選択に関して大きな刺激を得たようです。第1回目の研修は無事に終了することができました。早くから海外に出ることで広い視野を持ち、国際舞台で活躍できる魚津高生が、尚一層増えていくことでしよう。



MITのドーム前で



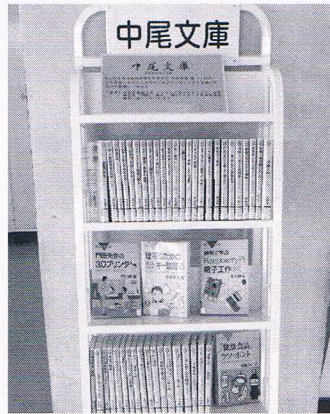
体育大会



文化祭



弁論大会



2学年フロアの中尾文庫

同窓会名誉会長の中尾哲雄氏（魚高7回）より本を寄贈して頂きました。ファーブル昆虫記全集、シェイクスピア全集、ブルーバックスなど、魚高生の教養を深め好奇心を引き出すラインナップになっております。これを記念し本校図書館と1、2学年フロアに中尾文庫コーナーが設置されました。中尾名誉会長のご厚意に感謝、御礼申し上げます。

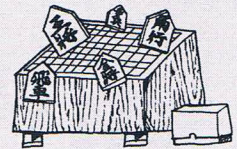
図書寄贈

魚高生の活躍

(平成28年9月～平成29年2月)

将棋部

◆第42回秋季囲碁大会
男子上級編 優勝 佐々木孝之



弁論同好会

◆平成28年度富山県高等学校弁論大会
最優秀賞 山谷 晟也
優秀賞 米島 萌夏

吹奏楽部

◆第40回北陸アンサンブルコンテスト
高等学校の部 金賞
クラリネット四重奏

◆とやま科学オリンピック2016
高校部門数学分野 金賞 大江 陸矢
銀賞 栃林 捷太

◆第28回富山県高等学校文化祭
短歌部門 優秀賞 腰本 和也

同窓会連絡係

(平成28年度)

- | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|
| 5組 | 4組 | 3組 | 2組 | 1組 |
| 寶田 風鈴 | ◎岩城淳之介 | ◎杉本 沙耶 | 宮崎 綾香 | 滝川 正法 |
| 大村 裕伍 | ◎岩城淳之介 | ◎杉本 沙耶 | 宮崎 綾香 | 滝川 正法 |
| 本田 萌香 | ◎岩城淳之介 | ◎杉本 沙耶 | 宮崎 綾香 | 滝川 正法 |
| 酒井 遼太 | ◎岩城淳之介 | ◎杉本 沙耶 | 宮崎 綾香 | 滝川 正法 |
| 川端 稀歩 | ◎岩城淳之介 | ◎杉本 沙耶 | 宮崎 綾香 | 滝川 正法 |

原稿募集のお願い

本校同窓生で「こんな方を知っている」「こんな方が活躍している」という方はいませんか? 自薦・他薦は問いません。原稿をお寄せ下さる方募集しています。

富山県立魚津高等学校同窓会

〒937-0041 富山県魚津市吉島945番地
TEL (0765) 22-0221
FAX (0765) 22-9970

同窓会ホームページ
<http://www.nice.tv.jp/~gyokou/index.html>
魚津高校ホームページ
<http://www.uozu-h.tym.ed.jp/>